

緊急時の初動対応 マニュアル

【学生向け：携帯用】



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

(2021年3月)

緊急事態発生時の連絡体制

事故
事件

被災者
又は
発見者

通報①

事項	連絡先	電話番号
火災 交通事故	消防署 警察署	119 110 携帯電話から119 の発信も、110
電気、ガス エレベーター 等の故障	エネルギー センター	0258-47-9290
ケガ、急病	体育・保健センター 救急車(消防署)	0258-47-9824 0258-36-0119

通報① → 通報②
の順に通報する。

※ 内線電話から外線電話する
場合は、0 発信することを
忘れずに！

通報②

総務課 (緊急時通報専用電話)

0258-47-9999

※ 転送完了まで保留音が流れる。

平日(8:30~17:15) : 総務課受信
時間外、休日、祝日 : 警備員受信

報告

学長等

指導教員・上司(所属長)へ連絡

事故等の種類に応じて 各課へ連絡・調査を要請する。

区分	担当課	連絡先
地震、台風、大雪	総務課 施設課	0258-47-9201、9203 0258-47-9233、9234
火災、器物損壊	施設課	0258-47-9233、9234
不審者、盗難	総務課	0258-47-9201、9203
授業中、実験時の事故等	学務課	0258-47-9246、9248
課外活動中の事故、 交通事故、学生の不祥事	学生支援課	0258-47-9253
食中毒、急病、感染症		
海外渡航中の事故等	学務課	0258-47-9243
学外からの問い合わせ (報道機関等)	企画・広報室	0258-47-9016、9207

地震

揺れを感じたら、まず身の安全の確保！

緊急地震速報を受信したら

- ① 窓ガラス、棚、黒板、壁、塀、電柱等、破損、落下、倒壊等の危険のあるものから離れる。
- ② ドアを開け、出入口を確保する。
- ③ 火気を使っている場合は、直ちに火を消す。

屋内の建物にいる場合

- ① あわてて戸外に飛び出さない。
 - ② 頑丈な机の下等に隠れて身を守る。
- <参考> 「シェイクアウト」



DROP!



COVER!



HOLD ON!

- ③ 可能であれば、窓やドアをあけて出口を確保する。

屋外にいる場合

- ① 周辺の状況に注意し、落ち着いて身の安全を確保する。
- ② 建物からの窓ガラスの飛散、看板などの落下に注意する。
- ③ 自動販売機、ブロック塀などは倒れる恐れがあるので近づかない。

揺れがおさまったら

- ① 余震が発生する可能性があるため、引き続き建物や器物の崩落、倒壊に気をつける。
- ② 負傷者がいる場合 ⇒ 可能な範囲で応急手当を施し、近くの教職員に連絡する。
- ③ 火災が発生している場合 ⇒ 可能な範囲で初期消火を試みる
⇒ 手に負えないと判断した場合は、速やかに避難するとともに消防署に通報する。

学内での避難、帰宅等の判断

災害(危機)対策本部の判断によって行動する

- ① 災害(危機)対策本部が学内の被害状況、気象状況、交通機関の運行状況等を見極めたうえで判断する。指示があるまでは、個人の判断で行動はしないこと。
- ② 指示は、災害(危機)対策本部より ANPIC からメールで連絡を行う。

台風等(暴風雨・暴風雪)

台風等が接近したら、まず気象情報、災害情報を確認する。

台風等が接近している場合

状況に応じた対応

気象情報、災害情報を確認し、施設・設備の点検(各自の所属する研究室、実験室等の戸締り。)をする。

休講措置

(教務担当副学長等が判断)

決定

平日(8:30~17:15)

掲示板、学内放送、メール、ホームページ等で確認する。

時間外、休日、祝日

安否情報システムからのメール、ホームページで確認する。

留意事項

- ・ 出入口や窓はしっかりと閉鎖し、必要に応じて外部面の窓ガラスを保護する。
- ・ 重要な書類、機器類、図書類、教材類や薬品類などは、安全な場所へ移動する。

台風等が通過中、通過した後

被災状況等の情報を収集

- ①各自の所属する研究室、実験室等に被害がないか確認する。
- ②被害が生じた場合は、速やかに下記の担当まで連絡を入れ、指示を受ける。

区分	担当	連絡先
施設被害	指導教員	研究室等の緊急連絡網による。
人的被害	学生支援課	0258-47-9253

- ③施設の異常や電気・ガス・水道等については、施設課の担当者の指示に従う。
- ④窓ガラスが割れたり、危険が生じている箇所は、ケガに注意しながら後片付け、立入禁止などの安全対策を講じる。

火 災

「火事だあー」と連呼し周囲に知らせる。
周囲の火災報知器の非常ボタンを押す。



初期消火

- ① 消火器又は消火栓により消火する。
- ② 手に負えないと判断した場合は、消火を中止し、すぐに避難する。



通報、連絡する

- ① 消防署 119番
- ② エネルギーセンター 0258-47-9290
- ③ 緊急時通報専用電話 0258-47-9999

(※転送完了まで保留音が流れる。)



避難する

- ① ハンカチなどで口を覆い、姿勢を低くして避難する。エレベーターは使用しない。
- ② 逃げ遅れた人がいる場合は、すぐに消防隊員に知らせる。消防隊員がいない場合は、近くの教職員（自衛消防隊）に知らせる。自ら助けに行くことは危険なため絶対にしないこと。
- ③ 安全な場所に避難する。学内避難場所（体育館、武道場、セコムホール、グラウンド等）
- ④ 一度避難した場合は、再び戻るとはしないこと。

不審者

相手の感情を高ぶらせるような対応は厳禁！
少しでも不審と感じたら、1人で対応せず
近くの者に助けを求める。

大学構内及び周辺において被害に 遭った(遭いそうになった)場合

対応

- まず大声を発し、助けを求める。
- すぐに110番通報をする。
- 学生支援課に連絡する。
平日(8:30～17:15)：0258-47-9253
- 警備員に連絡する
時間外、休日、祝日：0258-47-9999



被害に遭わないために

対策

- 夜間、1人での外出は極力自粛する。
- やむを得ず外出する場合は、できるだけ複数人で行動する。
- 歩きながらのイヤホン使用やメール、スマートフォンの操作はしないこと。(不審者が近づいている状況に気がつかなくなる。)

防犯対策について

対策

- いつでも110番通報できるように携帯電話を手にとって歩く。(またはバック等から出しやすくしておく。)
- 防犯ブザーなどの防犯器具を持つ。
- 外から見える場所に衣類を干さない。(特に女性)

食中毒、急病

発見したら、まず応急措置を要請する。

発見者がとるべき対応

対応

発症者の症状により応急措置を要請する。
発症者の所属を確認し連絡を入れる。

発症者の人数、症状、場所等を
下記に連絡し、応急措置を要請
する。同時に所属先へ連絡する。



平日(8:30~17:15)

体育・保健センターへ連絡
(0258-47-9824) 又は
救急搬送(119番通報)

発症者が

1 学生の場合

学生支援課

(0258-47-9254)

2 教職員の場合

総務課

(0258-47-9201、9203)

時間外、休日、祝日

救急搬送
(119番通報)

発症者が

学生の場合

教職員の場合

警備員に連絡

(0258-47-9999)

<参考> 関係連絡先(医療機関)

- ・長岡赤十字病院 (0258-28-3600)
- ・長岡中央総合病院 (0258-35-3700)
- ・立川総合病院 (0258-33-3111)
- ・長岡市休日・夜間急患診療所
(0258-37-1199)

感染症

(指定感染症：新型コロナウイルス感染症)
(五類感染症：インフルエンザ)

普段と異なる症状(かぜ症状：発熱、せき、のどの痛み等、息苦しさやだるさ、味覚障害)が生じ、体調不良の場合は登校せず、下記に相談する。

原則としてかかりつけ医療機関、又は下記の保健所・相談センターへ電話連絡のうえ相談



【平日：8時30分から17時15分まで対応】

長岡保健所 ☎0258-33-4932

【平日：17時15分から翌日8時30分まで、土日・祝日】

新潟県新型コロナ受診・相談センター窓口

☎025-256-8275



医療機関受診
(PCR検査等受検：陽性)



医療機関受診
(PCR検査等受検：陰性)
又はPCR検査等は不要

受診・検査結果等を必ず大学へ連絡を入れる。



連絡先

○クラス担当教員・指導教員

○学生支援課

TEL：0258-47-9253、9250

E-mail：gakuseigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

(但し、新型コロナウイルス感染症の場合、留学生については、国際課)

TEL：0258-47-9285、9286

E-mail：ryugaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

新型コロナ
ウイルス感
染症
(陽性判定)

- ① **保健所の指示に従い対応する。**
- ② 上記連絡先へ以下の連絡を入れる。
 - ・ 診断年月日、診断までの症状の経過
 - ・ 学生宿舍入居の有無
 - ・ 同居家族の状況
 - ・ **発症した2日前又は感染者と濃厚接触したと疑われる日からの健康チェック&行動履歴シートの提出及び学内での行動状況(使用した研究室、講義室、トイレ等)**

インフル
エンザ
(陽性判定)

- ① **一定期間出席停止(発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで)**
- ② 完治したときは、以下の届出を行う。
 - ・ インフルエンザ受付届出書
(提出先：学生支援課学生係)
 - ・ 欠席届 (提出先：学務課教務係)

陰性判定

- ① **濃厚接触者に非該当又は検査不要者回復後(発熱や風邪症状がない)：3日間自宅待機**
- ② **濃厚接触者に該当保健所の指示に従い対応する。なお、感染者と最後に接触した日から14日間は、健康観察とする。**

海外渡航中の事故等

慌てずに自分の身の安全を確保し、
まず電話、メールで連絡する。

渡航者(同行者)、指導教員がとるべき対応

対応① 渡航者(同行者)は、現地の日本大使館、家族に連絡を入れる。

渡航前に必ず現地の日本大使館や領事館、家族の連絡先を控えておく。渡航中に不測の事態が生じたら、周囲の状況に注意し、自分の身の安全を確保のうえ、連絡を必ず入れること。

対応② 渡航者(同行者)は、第一報を指導教員に入れる。

- ① 指導教員に電話、メールを入れる。どんな被害に遭い、負傷の有無等の連絡をする。
- ② 連絡後は、大学からの連絡が取れる体制で指示を受ける。



(1) 電話 (海外→日本) の仕方

〇〇〇 (国際電話認識番号) - 8 1 (日本の国番号)
- 2 5 8 - 4 7 - 〇〇〇〇 (内線番号)

※ 渡航先によっては、時差の関係により平日、夜間・休日・祝日が入れ替わる可能性がある。事前に日本との時差を確認しておくこと。

(2) メール

渡航前に必ず指導教員、関係教職員のメールアドレスを控えておくこと。グループアドレスがあれば、関係する複数の者が情報を受け取れるので活用する。

参考

OSSMA(派遣留学生危機管理管理サービス)の利用について

本学では、海外旅行保険では提供されない諸外国におけるトラブルを支援するサービスを受けられるよう、海外渡航するすべての学生を対象に上記サービスに加入している。本サービスは、海外旅行保険に加入していることが条件となる。

OSSMAに関する問い合わせ先：学務課教育交流係(内線9244)

※ 主なサービス内容

海外での病院・医師手配、メンタル相談、事故発生時の弁護士紹介、その他滞在時のトラブル相談など。

海外でトラブルに巻き込まれたら…左記、**対応②** 指導教員に
連絡を入れると同時にOSSMAヘルプラインにまず連絡!

(24時間、年中無休、日本語対応)

⇒ 支援サービスを受ける

海外からは +81-3-3811-8286

専用メールアドレス students@emergency.co.jp

(伝える内容) 氏名、所属大学(長岡技術科学大学)、会員番号(不明な場合は、学籍番号)

緊急時連絡メモ

大 学 名: 長岡技術科学大学
(代表電話) 0258-46-6000

氏 名: _____

所 属: _____ 学年: _____

住 所: _____

電話番号: _____
(自 宅)

緊 急 (住所)
連 絡 先 (電話)

血 液 型: 型 +
 -

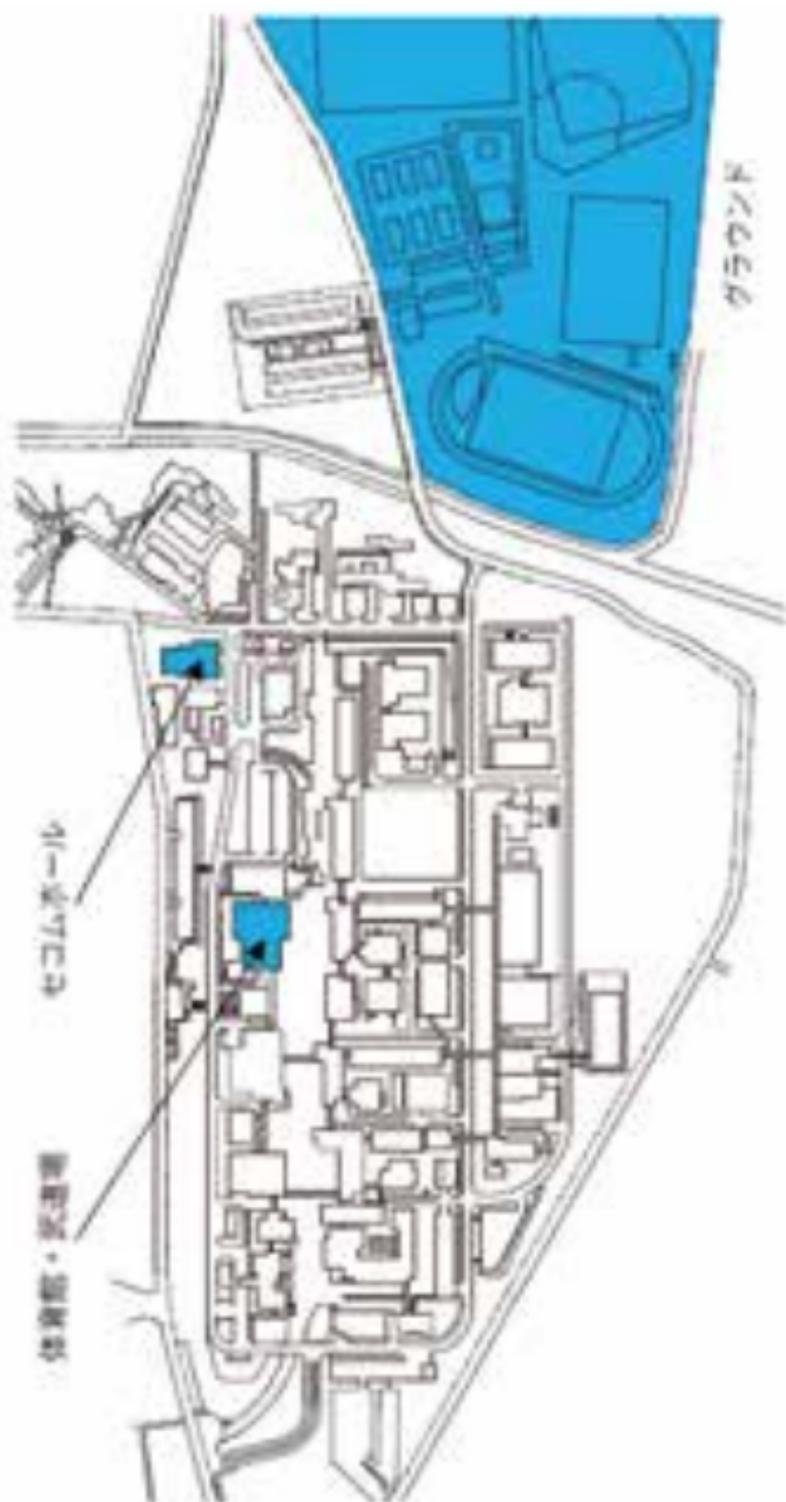
アレルギー: _____

服 用 薬: (薬の名前)

そ の 他
メ モ

参考

大学内の避難施設・避難場所配置図



< 災害用伝言サービス「171」の使い方 >

◆伝言の録音

- ①「171」をダイヤル→ガイダンスが流れる
- ②「1」をダイヤル
- ③市街局番 + 自宅の電話番号をダイヤル
- ④伝言を録音

◆伝言の再生

- ①「171」をダイヤル→ガイダンスが流れる
- ②「2」をダイヤル
- ③市街局番 + 連絡を取りたい相手の電話番号
- ④録音された伝言を聞く

- 利用可能な電話
固定電話、公衆電話
(※携帯電話からの利用は各通信事業者を確認する。)
- 蓄積伝言数 (災害発生地域により異なる)
ひとつの電話番号あたり1~10件
- 録音時間
1件 30秒以内
- 伝言保存期間
録音してから 48時間

< 携帯各社の災害用伝言サービス >

◆大規模災害時 (震度6弱以上の地震等) に携帯電話から安否確認ができるサービス。

※携帯各社によってサービスが異なる。また、事前の登録が必要なものもあるため、事前にテストをすること。

◆各社のQRコード及びURL

●NTTドコモ



【NTT ドコモ】

https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/

●au



【au】

<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengen/sp-usage/>

●ソフトバンク



【ソフトバンク】

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengen/>

災害等発生時の照会先・連絡先一覧

1. 災害状況の照会先

機 関 名	電話番号
長岡市危機管理防災本部	0258-39-2262
新潟県危機対策課	025-282-1638
新潟地方気象台観測予報担当	025-281-5871

2. 医療機関等の連絡先

機 関 名	電話番号
長岡赤十字病院	0258-28-3600
長岡中央総合病院	0258-35-3700
立川総合病院	0258-33-3111
長岡市休日・夜間急患診療所	0258-37-1199

3. 警察署、消防署、ライフライン関係の連絡先

機 関 名	電話番号
長岡警察署	0258-38-0110
長岡市消防本部	0258-36-0119
東北電力長岡営業所	0120-175-366
長岡市水道局工務課	0258-32-6077
北陸ガス長岡支社	0258-33-3200

4. 交通機関の被害状況の照会先

機 関 名	電話番号
JR東日本長岡駅	050-2016-1600
越後交通本社営業所	0258-27-1060
長岡国道工事事務所	0258-36-4551
NEXCO東日本長岡管理事務所	0258-46-5751
全日空 (ANA)	0570-029-075
日本航空 (JAL)	0570-025-071